



桧原苑だより

第125号

編集・発行
指定介護老人福祉施設
桧 原 苑

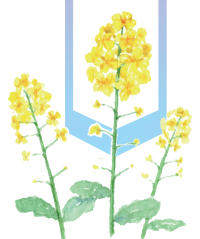
東京都西多摩郡檜原村 5650-8
TEL:042-598-0333
FAX:042-598-0334



ご挨拶



施設長
渡邊 昇



平素より特別養護老人ホーム
桧原苑の運営に対しご尽力いた
だくとともに、暖かいご支援を
賜り、心からの感謝と御礼を申
し上げます

近年、物価賃金高騰、人材不
足など社会福祉法人を取り巻く
経営環境が厳しさを増す中、限
りある財源で変化に対応するべ
く、新たな組織風土を構築する
必要性を感じています。

桧原苑では以前から基本目標
として、①信頼される施設創り
②真摯なサービスの提供 ③心の
こもった介護と看護を掲げ、達成
に向け業務に従事して参りました。
今年度は、更に「行動指針」を
作成し、職員全員が施設目標を
達成するために何をすべきかを
共有し、桧原苑らしい取り組み
や新たな仕組み創りに挑戦して
いきたいと考えています。

― 松原苑の行動指針 ―

① ご利用者と職員が、良好な人間関係のもと、共に生きることを喜び、人としての尊厳を守り、その人らしく普通に暮らし続けられる“場所”にします。

② 「終の棲家」となるべく、入居した日から『看取りの視点をケアに取入れる』を念頭に“心地良い空間創り”“寄り添うケア”を提供します。

③ 専門職としての自覚を持ち、その人がその人らしく暮らしていけるよう、観察力（気づき）・コミュニケーション力（聴く力・伝える力）を身に付け、常に反省と研鑽を重ね、「組織人」としての人間力と職務能力の向上に努めます。

④ 日々変わる制度（介護保険法・労働法・施設マニュアル等）の情報収集に努め、コンプライアンス遵守の意識を持ち、各種ルール（法令・規

則・虐待防止及び身体拘束廃止・ハラスメント防止・各種マニュアル等）を守ります。

⑤ サービスマナーの実践は、あらゆる業務の基盤となる専門的・行為として認識し、日々の業務を見直し、あるべき姿を共有し、ご利用者及び職員に対し思い遣りのある行動（支援）・安心して指摘し合える職場創りに努めます。

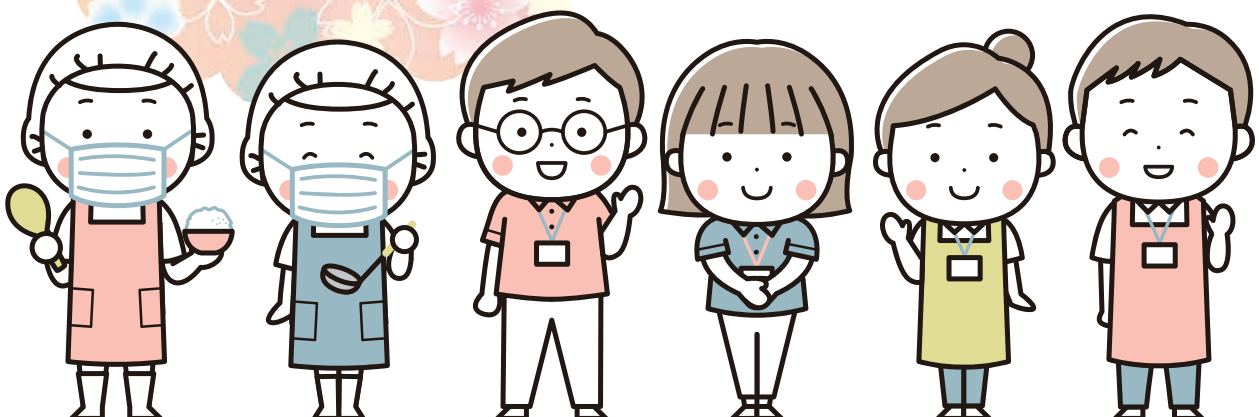
人口減少の中、介護職は限られた人数で専門性の高いサービスを提供していくため、生産性向上の取り組みが急務であり、介護業界のイメージ改善が課題であると考えています。生産性向上の取り組みでは、大切なものを見出し、より大きな幸福感を得るため効率化に於いて「諦める」勇気を持ちたいと思います。「諦める」ことで執着していた過去と和解し、新たな仕組みを見出し、業務改善に繋がると考えています。また、松原苑では、普通の暮らし（家庭）

を念頭に、ご家族や友人等と過ごす時間や季節の行事などを大切に、介護のイメージ改善に努めています。毎朝出勤時、職員玄関で

「感謝のメガネ」をかけます。「感謝のメガネ」をかけると、「ありがとう」という言葉が自然と心の中で湧いてくるとともに、思い遣りの気持ちも湧いてきます。

職員全員が「感謝のメガネ」をかけて業務に従事することで、心理的安全性の高い職場になると共に、ご利用者の尊厳が守られ、働き甲斐のある職場へと変わります。「感謝のメガネ」で、介護業界のイメージも変わっていくってほしいと願っています。

松原苑らしさを次の世代に伝え、地域の皆様から愛される施設創りに努めて参りますので、今後共ご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



ホーム喫茶「柚」

新型コロナウイルスで開催できていなかったホーム喫茶「柚」が一月三十一日開催されました。

喫茶店には季節感を感じてもらえるよう、檜原で採れた柚子を飾りました。ご利用者も「綺麗な柚子だね」「良い香りだね」と喜ばれていました。

今回はプリン、一口饅頭、レアチーズケーキを厨房で手作りし、ご利用者に食べたものを伺いました。また、軽食に併せる飲み物も、コーヒ―、紅茶、緑茶の中から好きな物を選んでいただき提供しました。



普段、ご利用者と関わることの少ない厨房職員との交流の場ともなり、とても良い機会となりました。また、職員が素敵な着姿をお披露目してくださり、特別感のある雰囲気になりました。

今回は、四十二名のご利用者にご来店いただきました。皆様、美味しいと喜んでいただきました。

今後もより多くのご利用者にご来店していただき、楽しんでいたできるよう工夫しながら開催していきたいと考えております。

(広報委員 S・N)

節分



冬真つ只中の二月二日、桧原苑では毎年の恒例行事である節分を行いました。「節分は二月三日」という概念を持つておりましたが、今年は暦の上で立春が一日早まったため、二月二日となりました。

桧原苑の豆まきでは衛生面を考慮し、落花生を撒いております。殻のまま撒くため、通常の豆と比べ鬼に投げやすいのでご利用者の皆様はしっかりと厄払いできておりました。

ご利用者に感想を伺うと「鬼は嫌だからちゃんと払ったよ」



「にぎやかで元気が出るね」という声をいただき、鬼役の職員にも励みになったかと思えます。今年も寒い冬でしたが、身も心も温まる光景が広がっております。

(広報委員 T・D)



手作りおやつの日

ユニットでは、時々ユニット行事として、手作りのおやつをご利用者に提供させて頂いております。

今回、松ユニットでは二月二十三日に「チョコバナナ」を作ってみました。

材料は春巻きの皮、板チョコ、バナナとバターを少々使います。作り方は、バナナを5ミリ位の厚さに輪切りにして、チョコは一かけら割っておきます。春巻きの皮の真ん中にバナナとチョコを一かけらずつ乗せ、皮の両側に水を少々つけて折りたたみ、反対側も同様にして四角く包みます。



おやつは
べつ腹!

いただきます!



これをいくつも作り、フライパンに多めのバターを入れて溶かしたら、先ほど作ったチョコバナナを並べていきます。中火で焼いて焼き色が付いたらひっくり返し、焼き色が両面に付いたら出来上がりです。これをお皿に乗せてお茶と一緒に提供しました。

甘くて柔らかく、チョコレートがトロツとしていて、皆さん「美味しかったよ」となかなかの好評でした。

次回も皆さんに喜ばれるようなおやつを考え、提供していきたいと思っています。

(広報委員S・O)



営業中

桜・桜ユニット
おでん

二月二十六日、桜・桜ユニット合同で「おでん屋」を行いました。昨年、おでん屋をもう一度開催することを約束していたのでよりおいしいおでんを召し上がっていただけるよう準備をしてきました。圧力鍋を駆使して汁が具にしっかりと染み込むよう煮込んで完成させ、ご利用者に提供しました。



うまい!!
うまい!!



おいしいねえ!



昨年に続き煮卵やちくわが人気でしたが、今年はんぺんが特に大好評でした。口に入れた瞬間とろけるような柔らかさが良かったそうです。昨年の煮込み時間の反省点が上手く活かされました。

次回はユニットより広い場所をお借りして屋台に似せた台車などを使用し、より雰囲気が出るようなおでん屋を開催してご利用者に楽しんでいただきたいと思います。

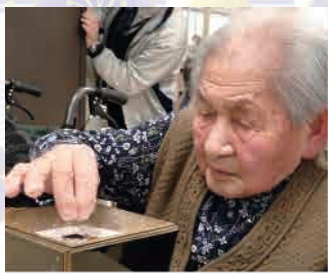
(広報委員T・O)

春の彼岸供養

今年も松原苑では故人、先祖の追善供養のため、春の彼岸供養を行いました。法要では二十五名のご利用者に参加いただきました。

施設の法要に合わせ、法人墓地の清掃、特設の仏壇準備やお供え等を行い、住職をお招きし取り行います。

お焼香でご利用者の席を回った際には、皆様手を合わせ、深々と頭を下げ供養されておりました。初参加のご利用者からは「心配していたから供養出来てよかった」というお言葉をいただきました。



このような慣習や祭事などは年々、簡素化されていたり、衰退しているように感じられますが、松原苑ではこれからも年中行事などを色褪せさせず、継続して行なって参ります。

(広報委員 T・D)

シイタケの収穫

松原苑では、ご利用者の皆様に少しでも新鮮な食材を提供出来たらと思い、施設の近くに畑を借りて、大根などの野菜を作っております。

また、今年も施設裏で栽培しているシイタケが出来ました。順調に育ち、三月三十一日に収穫を行いました。

収穫したてのシイタケを利用者の皆様に見ていただこうと籠に入れ、各ユニットを周らせて頂きました。



「こんなのが出来るんだねえ」



「うわ〜！ りっぱだねえ」

「うわ〜立派だね」「美味しそう」「こんなのが出来るんだねえ」と感動され、たくさんのお褒めのお言葉をいただきました。中には手に取って食べようとされる方もおりました。

出来たシイタケはその日の味噌汁の具や夕食の食材として、ご利用者の皆様に食べて頂きました。これからもご利用者の皆様の健康と地産地消に少しでも貢献できればと思っています。

(広報委員 S・O)



この度、介護支援専門員一名、
介護福祉士一名の計二名の職
員が資格を取得しました

介護支援専門員

・大木 康弘さん

介護福祉士

・益子 美由樹さん

おめでとうございます。



職員紹介



ナカムラ ルミコ
中村 瑠美子(管理栄養士)

★生まれ月…十二月

★趣味・特技…読書・料理

★ひとこと…ご利用者にとつて
おいしく楽しいお食事の時間
になるよう頑張ります

寄付寄贈

◎松浪 悦子 様
◎小林 寿久 様

ありがとうございました。

編集後記

今年は三月中旬に都心で
積雪があり、天候が不安定な
時期がありました。天候が不
安定であるとは体調も崩しや
すくなります。職業柄、早番・
遅番・夜勤と生活リズムが乱
れやすいですが、健康体を維
持するために睡眠時間は七
時間以上を目指して、寝る前
は温かいミルクやお茶を摂
取し、軽い運動で体をほぐし
てから床に就くようにして
おります。

疲労やストレスも体調に
影響しやすいので、おいしい
ものを食べ、面白い動画や映
画を視聴するなどしてスト
レスを溜めないよう意識し
て生活しています。

コロナが五類に引き下げ
られてからしばらく経ちま
したがまだまだ油断はでき
ません。皆様も独自の健康法
を活用して健康な毎日を過
ごしましょう。

広報委員より